

改革の精神

# The **S**pirit of **R**evolution

 株式会社 システムリサーチ<sup>®</sup>  
SYSTEM RESEARCH

## 平成26年3月第2四半期決算説明会

### Catch the Needs

<http://www.sr-net.co.jp>

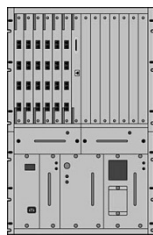
平成25年11月

東京証券取引所(JASDAQ市場)  
証券コード3771

# 会社概要

|         |                                                             |
|---------|-------------------------------------------------------------|
| 【設 立】   | 昭和56年3月                                                     |
| 【所 在 地】 | 名古屋市中村区岩塚本通二丁目12番                                           |
| 【代 表 者】 | 代表取締役社長 山田敏行                                                |
| 【資 本 金】 | 5億5,015万円                                                   |
| 【事業内容】  | SIサービス業務,ソフトウェア開発<br>業務及びインターネット関連事業等                       |
| 【従 業 員】 | 670名(単独)(平成25年9月30日現在)<br>平均年齢32歳<br>(平成25年9月30日現在742名(連結)) |
| 【連結子会社】 | 2社(イリイ(株)、(株)ソエル)                                           |
| 【主な株主】  | 山田敏行、従業員持株会                                                 |

# 事業概要



## SIサービス業務

顧客の情報化ニーズから情報システムを提案・開発・構築する事業

## ソフトウェア開発業務

大型汎用機ユーザーを中心に情報システムの開発・メンテナンスを請負う事業

## ソフトウェアプロダクト業務

不特定ユーザー向けのプログラム作成、販売および保守等



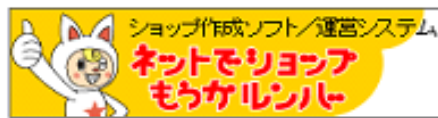
## 商品販売

情報機器、ネットワーク機器などの仕入販売



## その他

WEBサイトの運営等



# 当社の主な取引先

## 直接取引先

### 自動車関連

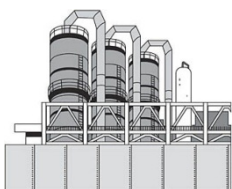


トヨタコミュニケーションシステム  
豊通シスコム、豊田通商  
エスケイエム(豊田自動織機)  
豊田ハイシステム、ジェイテクト  
トヨタ自動車

### 機械製造業関連

オークマ、ダイフク、富士機械製造

### 鉄鋼特殊鋼関連



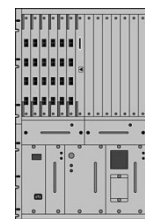
スターインフォテック(大同特殊鋼)  
日鉄住金テックスエンジ  
コベルコシステム(神戸製鋼所)

### その他

カゴメ、ヤマハ、ユニー、日本ガイシ  
ヤマトシステム開発、中日新聞社  
スミセイ情報システム、日立製作所  
名港海運、井澤金属、スギ薬局  
ロブテックス、トヨタマップマスター  
ロジックス、アビリオ債権回収

## 間接取引先

### メーカー系



東芝ソリューション、富士通  
富士通アドバンストエンジニアリング  
中部日本電気ソフトウェア  
日立ソリューションズ、日立製作所  
日本IBM、USOL中部  
富士通システムズ・ウエスト  
三菱電機メカトロニクスソフトウェア  
富士電機ITソリューション

### SI系



TIS、インテックソリューションパワー  
ニッセイ情報テクノロジー  
伊藤忠テクノソリューションズ  
中央エンジニアリング、クオリカ  
ヴィクサス、NTT各社、

大有建設、メニコン、宮川工機、凸版印刷  
日本通運、システナ、名北工業、特殊電気  
ユニチカ情報システム、ユー・エス・エス

# 当社の強み コアビジネス

- **中堅企業向けソリューションビジネス、パッケージビジネスの展開。**  
(EZ-Stock、easy myShop、Sales48、イリイ社製品(Simplex、CTIコネクター等))\*
- **自動車関連業務に特化している。**  
(IT投資需要が回復傾向)
- **製造業関連等のFA業務(生産、物流)、制御業務に特化。**  
(IT投資需要が回復傾向)
- **システム開発とメンテナンスに注力(約70%のリピート率)。**
- **戦略として業務特化、業種特化を目指している、SEの専門家集団。**

※EZ-Stock:在庫管理システム、easy myShop:ネットショップ構築・作成システム、Sales48:Webオーダーシステム、Simplex:通販業者向け販売/顧客管理システム、CTIコネクター:Webシステムやアプリケーションに、電話着信情報を引き渡すシステム。

# 当社の強み

## 業務・業種の特徴

- 当社の売上のうち、約24%(903百万円(前期比約15%増))がトヨタ自動車本体の業務であり、トヨタグループ全体では約41%(前期比約18%増)となっている。
- 主要業務のうち約11%がトヨタ系カーディーラーのパッケージ開発である。自動車産業におけるCRM,SCMの開発業務に強みを持つ。(前期約7%)
- 製造業関連等のFA業務(生産、物流)、制御系業務に特化しており、これらのノウハウを結集したコアパッケージを保有し、高品質・短納期・低コストを実現している。

注) CRM:カスタマ・リレーションシップ・マネジメント、SCM:サプライ・チェーン・マネジメント

# 決算概況

ことわりがない限り表・グラフ等は単体実績です。



# 第2四半期の概況

## 経済情勢

- アベノミクス効果による景況感の改善。
- 消費税率の引上げが決定。
  - ・ 2014年4月に8%、2015年10月に10%へ増税。
- 徴税や社会保障給付を効率化する「マイナンバー制度」。
  - ・ マイナンバー向けIT調達が国税庁から始まる(「法人番号システム」と「共通番号管理システム」)。
- 国際会計基準( I F R S )に「日本版」、株式売却益など独自仕様。
  - ・ 日本版 I F R S の骨格をまとめる。

## 情報サービス業界

- 今年8月の当業界の売上高合計は、前年同月比0.6%増と2か月ぶりの増加。
- マイクロソフトOS「 WindowsXP」のサポートが2014年4月終了。
- ビックデータ\*の活用とビックデータビジネスの拡大。
  - ・ 脚光を浴びている「データサイエンティスト\*\*」。
- 新型iPadの発売、グーグル、アマゾンが仕掛けるタブレット端末の価格破壊。

※ビックデータ(Big data): 文字どおり「巨大なデータ」。画像、音声などさまざまな形式のデータが含まれ、既存の通常の技術では処理や管理が困難であるほど、巨大で複雑なデータの集合。

※※データサイエンティスト: ビックデータを分析するスペシャリスト。



# 第2四半期の概況

## 当社経営成績

- 自動車関連製造業など主要顧客のIT投資需要が回復。
- 消費税改正によるソフトウェアリプレイス市場の活性化。
- WindowsXPサポート終了告知による買い替え需要。
  - ・ソフトウェアプロダクト業務の売上増。
- プロパーSEがフル稼働、東京・名古屋地区のSE不足が深刻。
- 利益面の改善。
  - ・顧客のIT投資回復傾向に支えられSE稼働率向上。
  - ・経費削減策の継続。
  - ・プロジェクト原価管理の徹底。

# 営業成績

| 決 算 年 月            | 平成23年9月期  | 平成24年9月期  | 平成25年9月期  |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|
| 売 上 高              | 3,061百万円  | 3,256百万円  | 3,830百万円  |
| 営 業 利 益            | 74百万円     | 122百万円    | 89百万円     |
| 経 常 利 益            | 73百万円     | 113百万円    | 82百万円     |
| 当 期 純 利 益          | 43百万円     | 66百万円     | 47百万円     |
| 純 資 産 額            | 2,245百万円  | 2,305百万円  | 2,375百万円  |
| 総 資 産 額            | 4,958百万円  | 5,280百万円  | 5,205百万円  |
| 自 己 資 本 比 率        | 45.2 %    | 43.6 %    | 45.6 %    |
| 1 株 当 たり 純 資 産 額   | 1,074円63銭 | 1,103円35銭 | 1,136円69銭 |
| 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 | 20円67銭    | 31円86銭    | 22円66銭    |

注) 平成25年9月期は前年同期比、売上は増収、営業利益・経常利益・当期利益とも減益となりました

# 資産推移

(単位: 百万円)

| 科 目      | 平成25年3月31日現在 | 平成25年9月30日現在 | 増減額  |
|----------|--------------|--------------|------|
| 現金及び預金   | 1,523        | 1,339        | △184 |
| 売上債権     | 1,328        | 1,451        | 122  |
| たな卸資産    | 106          | 225          | 119  |
| その他の流動資産 | 193          | 198          | 5    |
| 有形固定資産   | 1,235        | 1,218        | △16  |
| 無形固定資産   | 217          | 196          | △20  |
| 投資その他の資産 | 573          | 575          | 2    |
| 資産合計     | 5,177        | 5,205        | 27   |

注) 現金及び預金の減少は外注加工費の増加による支払増加と支払サイトの短縮などにより減額となっています。  
 売上債権は売上の増加などによります。

# 負債・純資産推移

(単位: 百万円)

| 科 目      | 平成25年3月31日現在 | 平成25年9月30日現在 | 増減額 |
|----------|--------------|--------------|-----|
| 買掛金      | 242          | 274          | 31  |
| 短期有利子負債  | 758          | 985          | 227 |
| 未払金・未払費用 | 289          | 254          | △35 |
| 賞与引当金    | 355          | 330          | △25 |
| その他の流動負債 | 222          | 128          | △93 |
| 長期有利子負債  | 695          | 667          | △27 |
| その他の固定負債 | 180          | 188          | 7   |
| 純資産      | 2,432        | 2,375        | △57 |
| 負債純資産合計  | 5,177        | 5,205        | 27  |

注) 短期・長期有利子負債の増加・・・余裕をもった運転資金を確保する為、折り返し融資を早めに実行しております。

純資産の増減・・・利益剰余金52百万円の減少となりました。

# 損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目             | 平成24年9月期 |        | 平成25年9月期 |        | 前期比    |
|-----------------|----------|--------|----------|--------|--------|
|                 | 金額       | 百分比    | 金額       | 百分比    | 増減率    |
| 売 上 高           | 3,256    | 100.0% | 3,830    | 100.0% | 17.6%  |
| 売 上 原 価         | 2,696    | 82.8%  | 3,275    | 85.5%  | 21.4%  |
| 売 上 総 利 益       | 559      | 17.2%  | 555      | 14.5%  | △0.8%  |
| 販売費及び一般管理費      | 437      | 13.4%  | 465      | 12.1%  | 6.5%   |
| 営 業 利 益         | 122      | 3.8%   | 89       | 2.3%   | △27.2% |
| 経 常 利 益         | 113      | 3.5%   | 82       | 2.1%   | △26.9% |
| 第 2 四 半 期 純 利 益 | 66       | 2.0%   | 47       | 1.2%   | △28.8% |

# 受注状況

【 実績:SIサービス業務 】

(単位:百万円)

|         | 平成24年9月期<br>(実績) | 平成25年9月期<br>(実績) | 前 期 比 |       |
|---------|------------------|------------------|-------|-------|
|         |                  |                  | 増減額   | 増減率   |
| 受 注 高   | 2,146            | 2,551            | 404   | 18.8% |
| 受 注 残 高 | 841              | 962              | 121   | 14.3% |

【 実績:ソフトウェア開発業務 】

(単位:百万円)

|         | 平成24年9月期<br>(実績) | 平成25年9月期<br>(実績) | 前 期 比 |        |
|---------|------------------|------------------|-------|--------|
|         |                  |                  | 増減額   | 増減率    |
| 受 注 高   | 1,592            | 1,663            | 71    | 4.4%   |
| 受 注 残 高 | 417              | 364              | △53   | △12.6% |

注) 受注高、受注残高には商品販売、その他は含めておりません。

# 製造原価内訳

【 製造原価 】

(単位:百万円)

|                    | 平成24年9月期<br>(実績) | 平成25年9月期<br>(実績) | 前 期 比 |       |
|--------------------|------------------|------------------|-------|-------|
|                    |                  |                  | 増減額   | 増減率   |
| 労 務 費<br>( 構 成 比 ) | 1,742<br>(62.4%) | 1,869<br>(55.1%) | 126   | 7.2%  |
| 外 注 費<br>( 構 成 比 ) | 913<br>(32.7%)   | 1,378<br>(40.6%) | 465   | 50.9% |
| 経 費<br>( 構 成 比 )   | 135<br>(4.9%)    | 144<br>(4.3%)    | 9     | 6.8%  |
| 当 期 総 製 造 費 用      | 2,791            | 3392             | 601   | 21.5% |
| 期首・期末仕掛品等          | △111             | △132             | △20   | —     |
| 当 期 製 品 製 造 原 価    | 2,679            | 3,260            | 580   | 21.6% |



# 販管費内訳

(単位: 百万円)

|                        | 平成24年9月期<br>(実績) | 平成25年9月期<br>(実績) | 前 期 比 |       |
|------------------------|------------------|------------------|-------|-------|
|                        |                  |                  | 増減額   | 増減率   |
| 人 件 費<br>( 構 成 比 )     | 314<br>(71.8%)   | 348<br>(74.8%)   | 34    | 10.9% |
| そ の 他 経 費<br>( 構 成 比 ) | 123<br>(28.2%)   | 117<br>(25.2%)   | △5    | △4.6% |
| 合 計                    | 437              | 465              | 28    | 6.5%  |

# 営業実績

## 売上高上位10社

(単位: 百万円)

| 販 売 先                 | 平成24年9月<br>第2四半期 |        | 平成25年9月<br>第2四半期 |        | 増 減 |        |
|-----------------------|------------------|--------|------------------|--------|-----|--------|
|                       | 販売金額             | 構成比    | 販売金額             | 構成比    | 金額  | 伸率     |
| (株)トヨタコミュニケーションシステム   | 487              | 15.0%  | 478              | 12.4%  | △9  | △2.0%  |
| (株)富士通システムズ・ウエスト      | 214              | 6.6%   | 444              | 11.6%  | 229 | 106.7% |
| 豊 田 ハ イ シ ス テ ム (株)   | 106              | 3.2%   | 199              | 5.2%   | 92  | 87.6%  |
| (株) 豊 通 シ ス コ ム       | 224              | 6.9%   | 193              | 5.0%   | △31 | △13.8% |
| A 社                   | 127              | 3.9%   | 177              | 4.6%   | 49  | 38.8%  |
| 東 芝 ソ リ ュ ー シ ョ ン (株) | 129              | 4.0%   | 171              | 4.5%   | 41  | 32.3%  |
| (株)富士通アドバンスエンジニアリング   | 127              | 3.9%   | 141              | 3.7%   | 14  | 11.5%  |
| (株) 日 立 製 作 所         | 49               | 1.5%   | 133              | 3.5%   | 84  | 171.3% |
| S C S K (株)           | 65               | 2.0%   | 133              | 3.5%   | 68  | 104.7% |
| (株)スターインフォテック         | 93               | 2.9%   | 121              | 3.2%   | 27  | 29.4%  |
| そ の 他                 | 1,630            | 50.1%  | 1,636            | 42.8%  | 6   | 0.4%   |
| 合 計                   | 3,256            | 100.0% | 3,830            | 100.0% | 573 | 17.6%  |

# 営業実績

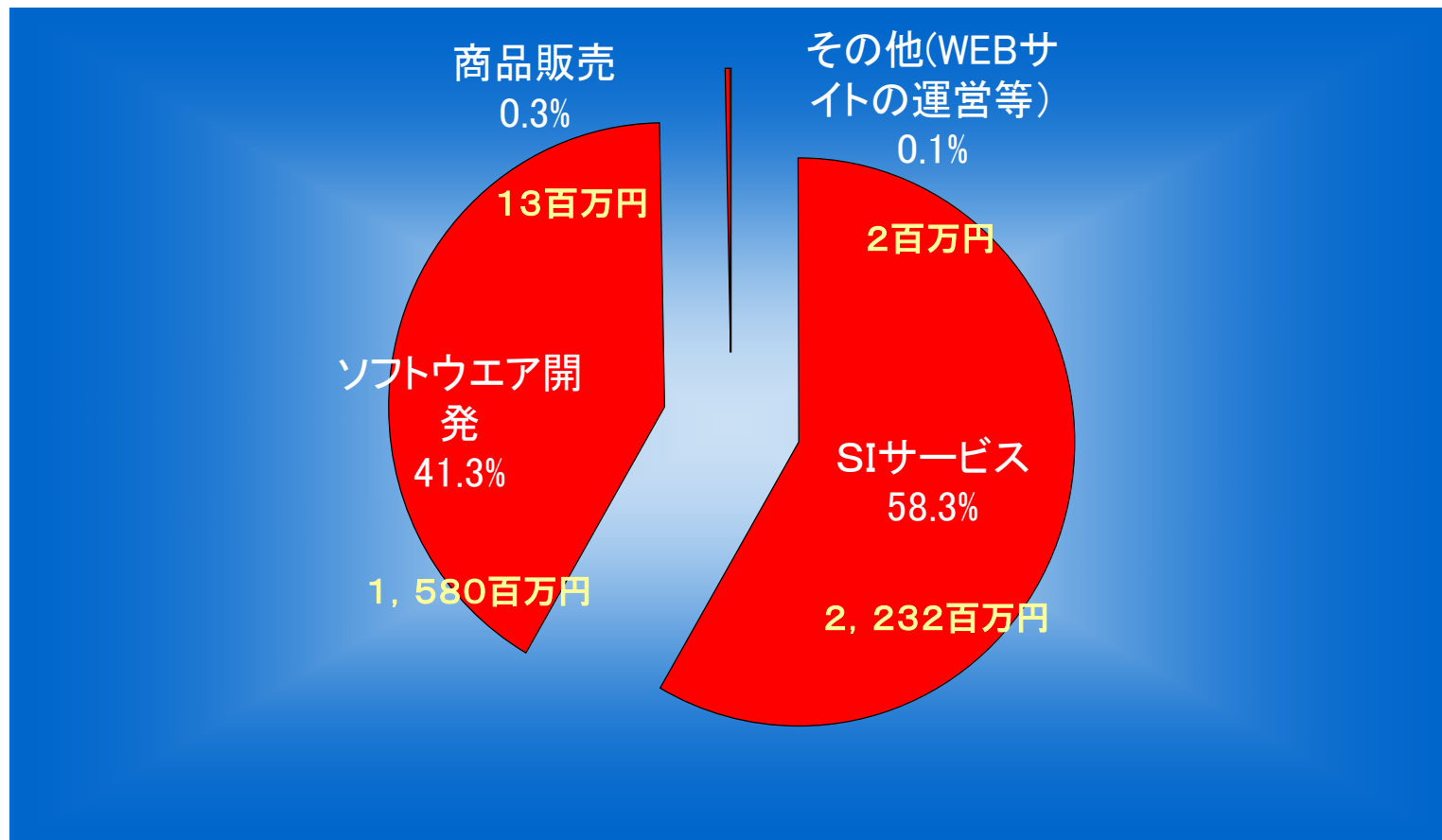
## セグメント別売上構成・前期比

(単位: 百万円)

| 区 分                  | 平成24年9月第2四半期 | 平成25年9月第2四半期 | 増減           |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|
|                      | 売上高<br>(構成比) | 売上高<br>(構成比) | 売上高<br>(増減比) |
| SIサービス開発業務           | 1,790        | 2,232        | 442          |
|                      | 55.0%        | 58.3%        | 24.6%        |
| ソフトウェア開発業務           | 1,447        | 1,580        | 133          |
|                      | 44.5%        | 41.3%        | 9.2%         |
| 商 品 販 売              | 14           | 13           | △0           |
|                      | 0.4%         | 0.3%         | △5.6%        |
| そ の 他<br>(WEBサイト運営等) | 3            | 2            | △1           |
|                      | 0.1%         | 0.1%         | △34.9%       |
| 合 計                  | 3,256        | 3,830        | 573          |
|                      | 100%         | 100%         | 17.6%        |

# 営業実績 セグメント別売上構成

平成25年9月第2四半期



# 連結貸借対照表

平成25年9月第2四半期

(単位: 百万円)

| 科 目      | 金額<br>(SR) | 金額<br>(子会社) | 金額<br>(連結) | 科目       | 金額<br>(SR) | 金額<br>(子会社) | 金額<br>(連結) |
|----------|------------|-------------|------------|----------|------------|-------------|------------|
| 現金及び預金   | 1,339      | 285         | 1,624      | 買掛金      | 274        | 26          | 300        |
| 売上債権     | 1,451      | 180         | 1,631      | 短期有利子負債  | 985        | 3           | 988        |
| たな卸資産    | 225        | 12          | 237        | 未払金・未払費用 | 254        | 22          | 276        |
| その他の流動資産 | 198        | 25          | 222        | その他の流動負債 | 459        | 165         | 624        |
| 有形固定資産   | 1,218      | 10          | 1,229      | 長期有利子負債  | 667        | 0           | 667        |
| 無形固定資産   | 196        | 70          | 266        | その他の固定負債 | 188        | 28          | 217        |
| 投資その他の資産 | 575        | 25          | 250        | 純資産      | 2,375      | 363         | 2,386      |
| 資産合計     | 5,205      | 610         | 5,461      | 負債純資産合計  | 5,205      | 610         | 5,461      |

注) SRと子会社との金額の合計額と連結の金額との差異の内容は、下記のとおりであります。

投資その他の資産・・・関係会社株式351百万円(イリイ336百万円 ソエル15百万円)

純資産・・・資本連結手続きにより相殺消去された関係会社純資産額351百万円

# 連結損益計算書

平成25年9月第2四半期

(単位:百万円)

| 科 目        | SR    |        | 子会社 |        | 連結    |        |
|------------|-------|--------|-----|--------|-------|--------|
|            | 金額    | 百分比    | 金額  | 百分比    | 金額    | 百分比    |
| 売 上 高      | 3,830 | 100.0% | 421 | 100.0% | 4,247 | 100.0% |
| 売 上 原 価    | 3,275 | 85.5%  | 192 | 45.6%  | 3,462 | 81.5%  |
| 売 上 総 利 益  | 555   | 14.5%  | 229 | 54.3%  | 784   | 18.5%  |
| 販売費及び一般管理費 | 465   | 12.1%  | 191 | 45.4%  | 657   | 15.4%  |
| 営 業 利 益    | 89    | 2.3%   | 37  | 8.7%   | 126   | 3.0%   |
| 経 常 利 益    | 82    | 2.1%   | 40  | 9.5%   | 122   | 2.9%   |
| 当 期 純 利 益  | 47    | 1.2%   | 32  | 7.6%   | 79    | 1.9%   |

注) SRと子会社との金額の合計額と連結の金額との差異の内容は、下記のとおりであります。

売上高の科目…親子間取引5百万円

売上原価の科目…親子間取引4百万円

# 営業実績

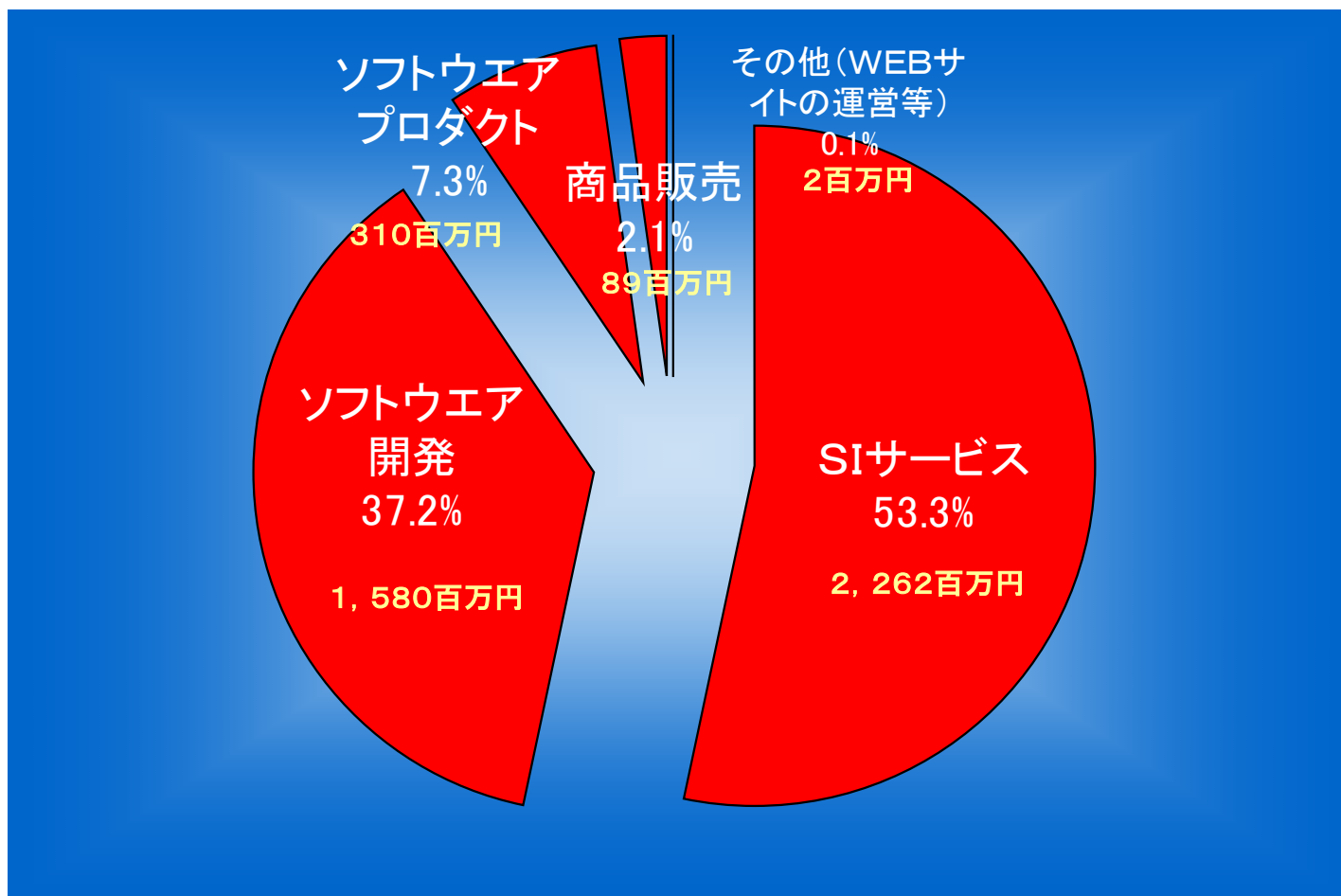
## セグメント別売上構成・前期比(連結)

(単位: 百万円)

| 区 分                  | 平成24年9月第2四半期 | 平成25年9月第2四半期 | 増減           |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|
|                      | 売上高<br>(構成比) | 売上高<br>(構成比) | 売上高<br>(増減比) |
| S I サービス業務           | 1,816        | 2,262        | 446          |
|                      | 50.4%        | 53.3%        | 24.5%        |
| ソフトウェア開発業務           | 1,447        | 1,580        | 133          |
|                      | 40.1%        | 37.2%        | 9.2%         |
| ソフトウェアプロダクト          | 265          | 310          | 45           |
|                      | 7.4%         | 7.3%         | 16.9%        |
| 商 品 販 売              | 70           | 89           | 19           |
|                      | 2.0%         | 2.1%         | 27.0%        |
| そ の 他<br>(WEBサイト運営等) | 3            | 2            | △0           |
|                      | 0.1%         | 0.1%         | △23.4%       |
| 合 計                  | 3,604        | 4,247        | 642          |
|                      | 100%         | 100%         | 17.8%        |

# 営業実績 セグメント別売上構成(連結)

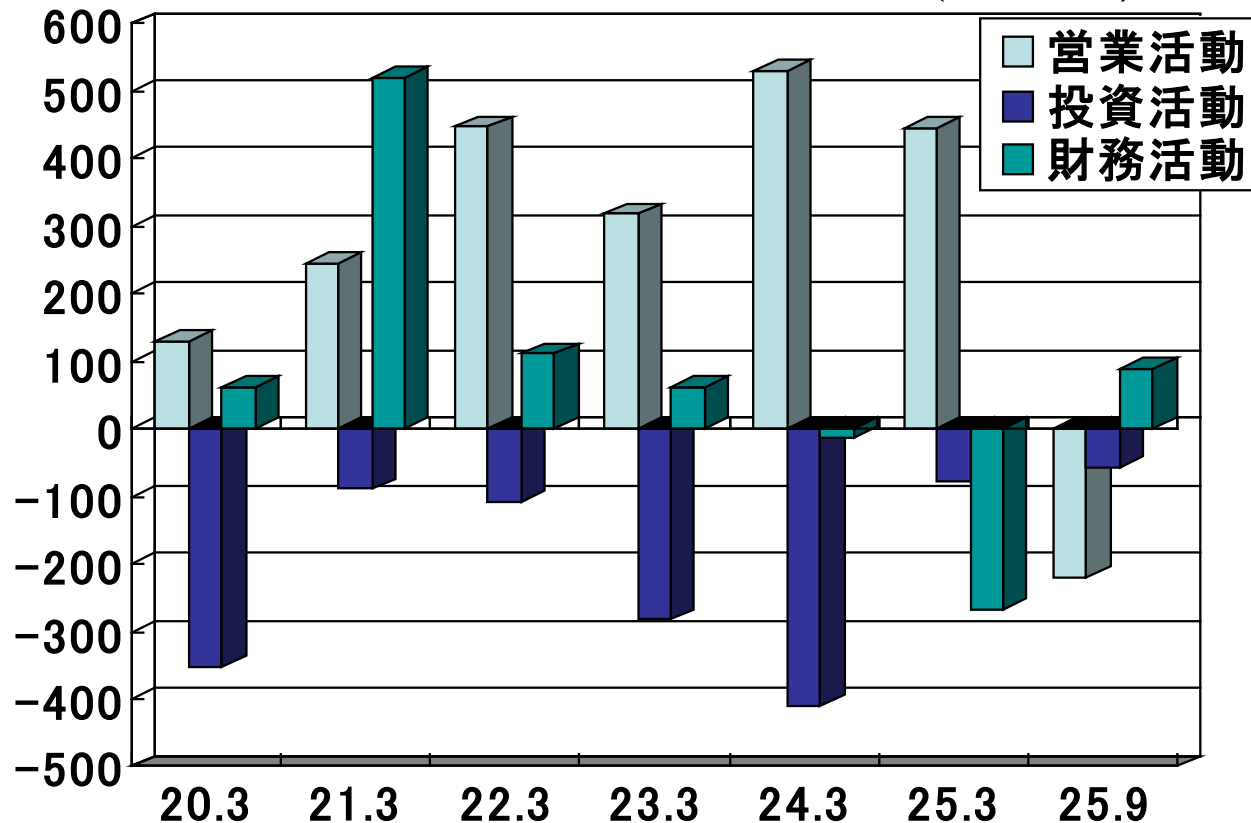
平成25年9月第2四半期





# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)



## ★投資活動の主な変動

20.3期 岩塚本通りの土地購入170百万円とソフトウェア開発(販売目的・新基幹システム)150百万円の増加

23.3期 岩塚本通りの建物建設仮勘定等176百万円とソフトウェア(新基幹システム等105百万円)の増加

24.3期 岩塚本通りの建物建設費用等351百万円とソフトウェア(新基幹システム等58百万円)の増加

## ★財務活動の主な変動

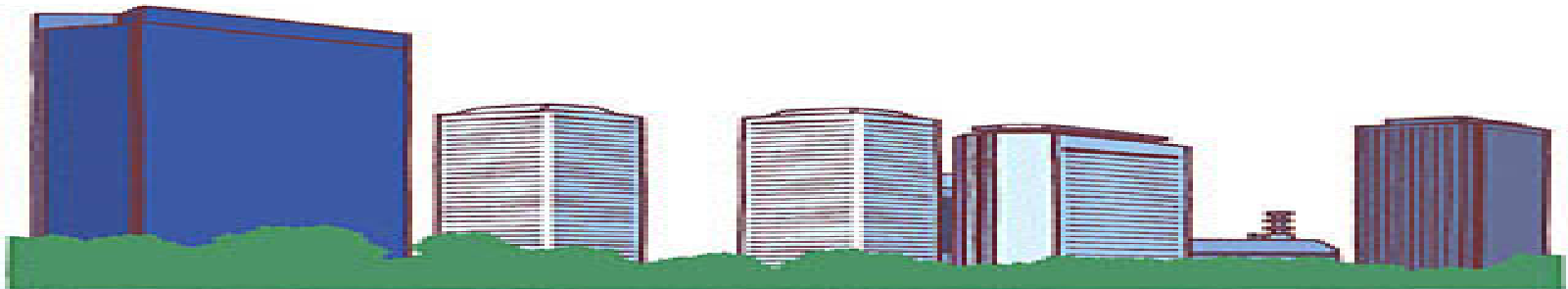
21.3期 株式発行による145百万円と長期借入折返し融資400百万円の増加

# 経営戦略

(平成26年3月期)

# 経済情勢

- 東電福島原発事故処理には30～40年かかる。値上げを含む今後の電力問題。
- 小休止状態の欧州ユーロ圏における債務危機（ギリシャ、スペイン、イタリア）。
- 中国のバブル経済の崩壊と経済変調、政治面での不安定。
- 新興国におけるインフレ懸念と金利高と経済の減速懸念。
- 日本における少子高齢化と労働人口の減少、1,000兆円に及ぶ財政赤字。
- 昨年12月の自民党の衆議院圧勝、脱デフレと金融緩和と成長戦略（アベノミクス）。
- 日本のTPP参加と、国内既得権益団体（農協、医師会等）の反対活動。
- 改正高齢者雇用安定法・改正労働契約法の施行、障害者の法定雇用率の引き上げ。



# 業界動向

- 消費税率が2014年4月1日から8%に引き上げられる。  
2015年10月1日から10%に引き上げる。
- IFRSの適用時期は2017年3月期へ、2年延長。  
日本版IFRSの 2015年3月期にも導入か？
- 「共通番号制度」の骨子固まる。2016年から一元管理。  
2017年から行政手続きの簡素化、2018年から医療情報などの民間活用の推進。
- クラウド\*サービスの利用分野拡大。
- ビックデータ\*の利活用の拡大。
- タブレット端末、スマートフォン\*、ウルトラブック\*の利用拡大。
- WindowsXPとOffice2003のサポート終了、  
後継 Windows8のバージョンアップ版Windows8.1リリース。



※クラウド(クラウドコンピューティング(cloud computing)): ネットワーク、特にインターネットをベースとしたコンピュータの利用形態。ユーザーはコンピュータ処理をネットワーク経由で、サービスとして利用する。

※ビックデータ(Big data): 文字どおり「巨大なデータ」。画像、音声などさまざまな形式のデータが含まれ、既存の通常の技術では処理や管理が困難であるほど、巨大で複雑なデータの集合。

※スマートフォン: iPhoneやAndroidなどを代表とした多機能な携帯電話。

※ウルトラブック(Ultrabook): 2011年5月にIntel社が提唱した薄型軽量で安価な次世代ノートパソコンの構想。

# 売上高 経営戦略

(平成26年3月期)

| 項 目  | 単 体      | 連 結      |
|------|----------|----------|
| 売上高  | 78億00百万円 | 85億56百万円 |
| 営業利益 | 5億46百万円  | 5億64百万円  |
| 経常利益 | 5億28百万円  | 5億54百万円  |
| 当期利益 | 3億28百万円  | 3億43百万円  |

# 経営戦略

## 中期事業計画の達成に向けて

### (1) ソリューションビジネスの拡大を目指す

- ・社内のソフト資産のコア商品化、自ら開発、自ら値付けできる市場を開拓。
- ・顧客にとって廉価、高機能、短納期でのシステム提案は最大の魅力。
- ・ハード、ソフト、ネット、クラウドの総合的なソリューションの提供と保守を目指す。
- ・高い利益率を目指す。

### (2) スtockビジネスを拡大して、経営基盤の安定化を目指す

- ・システムの新規開発需要に左右されない安定した仕事の確保を目指す。
- ・ニッチな分野の受託計算業務、アウトソーシング業務、ソフトの保守メンテナンス業務。
- ・クラウド、ASP\*、電子商取引等のネット関連ビジネス。

### (3) 新しいウェブ関連ビジネス、コンテンツビジネスの事業化を目指す

- ・スマートフォン、タブレット端末、ウルトラブック\*\*利用のサービスの事業化。
- ・ウェブ関連ビジネス(二番煎じも可)での企画、開発、事業化を目指す。

※ASP(Application Service Provider):ビジネス用のアプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客にレンタルする事業者のこと。

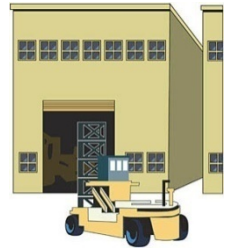
※※ウルトラブック(Ultrabook):2011年5月にIntel社が提唱した薄型軽量で安価な次世代ノートパソコンの構想。

# 経営戦略

## 中期事業計画の達成に向けて

### ○EZ-Stock（イージーストック/在庫管理・倉庫管理システム）

- ①在庫の見える化で業務改善を支援。
- ②代理店（システム構築会社）、金融機関等との連携。
- ③他社製品（FLEXSCHE\*（生産スケジューラ）、BPEC\*\*（業務の見える化））との連携。  
（\*FLEXSCHEはフレクシェ社の登録商標。\*\*BPECはBPデザイナーズ社の業務改善手法。）



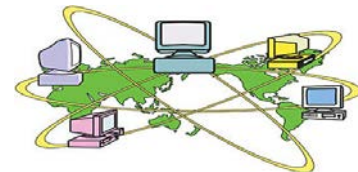
### ○Sales48（セールス・フォー・アンド・エイト/Webオーダーシステム）

- ①四つのLINK（(1)商品、(2)顧客、(3)貴社、(4)既存システム）。
- ②八つの特徴（(1)BtoBに特化した受注サイト、(2)在庫状況などリアルタイムで更新、  
(3)業務の自動化による作業の効率化、(4)導入コストを安価に設定、  
(5)ネットマーケティングの仕組みを完全に網羅、  
(6)業務の拡大に合わせてカスタマイズ、(7)社内環境に合わせた導入形態の多様性、  
(8)現在の実務に合わせた連携機能の充実）。
- ③大手会計ソフト会社との連携。



### ○easymyShop（イージーマイショップ/ネットショップ構築・運用システム）

- ①安価で簡単にECサイトを開設。
- ②個人事業主や小売店等を対象。



# 経営戦略

## 中期事業計画の達成に向けて

### (4) ソフトの組込み系分野の拡大を目指す

- ・顧客の製造工場は海外へ出ても、新商品関連の組込みソフト開発は国内に残る。  
(特に自動車関連)

### (5) 東京地区、大阪地区の拡大を目指す

- ・中途採用の増員や、支店・営業所の設置、M&Aをベースに考える。

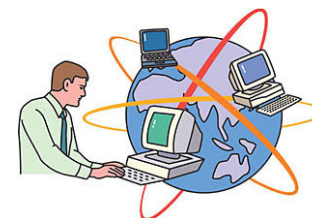


### (6) 「売上より利益重視」を基本方針に、每期、営業利益率を向上させる

- ・拡大しながら、営業利益率を6%から10%へ。
- ・契約条件の改善を目指す。

### (7) 5か年計画で、社員数1,000名、売上100億円、営業利益率10%を目指す

- ・生き残るためには、最低限1,000名以上の規模が必要。
- ・東証上場への準備。





# 経営戦略

安定した経営を継続するための新しい儲かる仕組みづくりを目指す。

～ 営業面 ～

## (1) 柱がSIだけでは不安、各部門、新しい価値創造に向けチャレンジ

- ・各部門1テーマでいいから新しい目標にチャレンジして必ず結果を出す。

## (2) 部門の月別売上高1億円以上、営業利益率10%以上を目指す

- ・每期必ず営業利益率を1%向上させる。

## (3) 拡大あるのみ、縮小に均衡はなく、縮小は衰退の始まり

- ・新人を含め每期10名ずつ技術者を増やす。

## (4) 生産コストの低減化と生産性の大幅な向上を目指す

- ・技術者一人ひとりがプロとして自らの仕事の正確性と密度をあげる。
- ・技術者の早期レベルアップを図るため、「セル生産方式」の実践。



## (5) 営業は共に成長できる優良顧客の開拓を目指す

- ・御用聞きの営業では駄目、シーズ・ニーズを捉えた営業提案が不可欠。
- ・優良顧客とはお互いの存在価値を認め、商取引は対等な立場で、共に成長できる顧客。

安定した経営を継続するための新しい儲かる仕組みづくりを目指す。

～ 管理面 ～

## (1) 赤字プロジェクト・低採算プロジェクト(営業利益率5%以下)を無くす

- ・マネジメント不足、責任感の欠如、技術力不足等が原因。
- ・PMBOK\*に従ったプロジェクトマネジメントの実施。

## (2) 経費削減対策の継続と無駄の排除

- ・外注費、超過勤務、不要不急の経費等。

## (3) 待機者ゼロを目指し、教育の徹底でスキルアンマッチ無くす

- ・スキルアンマッチは教育失敗の言い訳に過ぎない。

## (4) 超過勤務60時間以上無くす

- ・事前許可を得る。時間管理は自己責任。
- ・サービス残業はしない。



※PMBOK(Project Management Body of Knowledge):プロジェクトマネジメントに関する知識体系。

# 経営戦略

安定した経営を継続するための新しい儲かる仕組みづくりを目指す。

～ 管理面 ～

## (5) 人材のグローバル対応

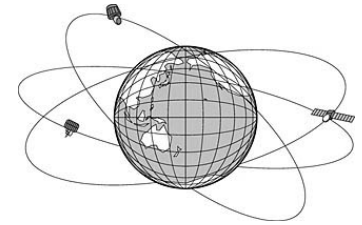
- ・まずは英語、英会話。

## (6) 65歳定年時代への対応

## (7) (株)ソエルとの連携

- ・障害者雇用専門のシステム開発子会社。
- ・ニアショア先としての連携。

# 子会社事業の展開



イリイ(株)

スローガン      スピード経営

～主要プロダクトの拡販と消費税改正対応～

## ➤ Simplex

- ・継続的機能強化(新機能の定期的VersionUPによる顧客満足度確保。中小ユーザー獲得のための製品内容再構成。)
- ・販売力強化(全国拠点での販売。アライアンス先の拡大。自己完結型パートナーの獲得拡大。)

## ➤ BIG+CTI

- ・安定販売の継続(消費税率改定への確実な対応による顧客維持。PBXメーカーとの良好な関係の維持。安定的なVersionUP。)
- ・新BIG CTIコネクター(BIGとSimplexの統合。OEM供給の模索。)

## ➤ Cloud & Smart

- ・スマートデバイス対応(イリイドメイン製品との連携アプリ開発。イリイ独自製品の企画開発。)
- ・SI案件からの収益(保守の継続と金額交渉。SI案件の確実な獲得。)

## ➤ 正確性の確保

- ・正確な情報提供(製品多様化に伴う正確な製品情報の提供。サービスメニューの細分化。)
- ・業務の正確性(見積書の精度向上。取引内部処理の正確性。コンプライアンスの厳守。)

# 子会社事業の展開

## ☆ イリイの主なパッケージ

### 中～大規模向け通販システム



顧客管理機能で見込顧客をデータベース化。アウトバウンド機能で効率のよい新規顧客獲得へのアプローチが可能です。

### 小～中規模向け通販システム



電話受付時に受注伝票をポップアップ。住所や氏名等は表示された情報を確認するのみで、通話中に受注処理がすばやく行えます。

### アプリ+web連携CTI



現在ご使用中の販売管理システムや顧客管理システムにシームレスに連携するCTIオプションです。

### コールセンター向けシステム



簡易FAQやオペレータ管理、リアルタイムモニタなど、コールセンターのノウハウをパッケージに凝縮。

### 顧客情報管理システム



1台～数十台のコールセンターでご利用頂いているイリイのベストセラー。導入ノウハウを生かしたカスタマイズもご提案します。

### 通話録音システム



交換機や電話機の入替えは不要。短期間・低リスクでの導入をサポート。レンタルサービスもご用意しています。

イリイ様のHP  
<http://www.ili.co.jp/>

# 子会社事業の展開

## ☆ 特例子会社 (株)ソエルの事業

- ①商 号：(株)ソエル
- ②所 在 地：岐阜県大垣市今宿六丁目52番地18
- ③設 立 日：平成24年12月25日
- ④資 本 金：2,000万円
- ⑤出資比率：当社75% (株)ウェルテクノス25%
- ⑥目的
  - ・障害者に対する自立支援と生きる喜びの場を提供
  - ・企業の社会的貢献の一環
  - ・障害者雇用義務の達成
  - ・ニアショアとしての育成

(株)ソエルのHP  
<http://sowel.co.jp/>

# 添付資料

# 配当政策

- 株主への還元政策につきましては、当社の株式を長期的かつ安定的に保有していただくため、収益状況や今後の見通し、配当性向(約30%)、株式分割などを総合的に勘案して適宜実施するべきものと考えております。

## 将来事象に関する注意事項

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

IR担当窓口 企画広報室

執行役員 小池 貴司

TEL : (052) 413-6820(代)

FAX : (052) 413-6821

E-mail : [ircontact@sr-net.co.jp](mailto:ircontact@sr-net.co.jp)



# 会社沿革

## ～今日までの歩み～

|             |                     |                                                                                                                                                                    |
|-------------|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1981年～1984年 | 創業期                 | 人脈の大切さ、人とのつながり                                                                                                                                                     |
| 1985年～1993年 | 第一成長期<br>(株式公開を目指す) | 1991年            24億円(売上高)        341名(従業員)<br>1992年            27億円(売上高)        390名(従業員)<br>1993年            23億円(売上高)        337名(従業員)                          |
| 1994年～1996年 | 低迷期                 | 1994年            15億円(売上高)        271名(従業員)<br>1995年            17億円(売上高)        230名(従業員)<br>1996年            20億円(売上高)        214名(従業員)<br>バブル崩壊、経営悪化(メインバンクの存在) |
| 1997年～1999年 | 混迷期                 | 経営改善                                                                                                                                                               |
| 2000年～2003年 | 第二成長期               | 株式公開に向けて                                                                                                                                                           |
| 2004年～2005年 | 上場審査開始              |                                                                                                                                                                    |
| 2005年6月13日  | JASDAQ上場            | 念願の上場を実現                                                                                                                                                           |
| 2008年9月～    | リーマンショック            | 米国発の金融不安が世界的に拡大、企業業績悪化                                                                                                                                             |
| 2011年3月11日  | 東日本大震災              | 未曾有の大災害により供給網寸断、生産活動におおきな影響                                                                                                                                        |
| 現        在  | 第三成長期               | 東証上場へ向けて仕切りなおし<br>100億円(売上高) 10億円(営業利益)                                                                                                                            |

# 会社沿革

## ～事業展開～

|          |                                                              |
|----------|--------------------------------------------------------------|
| 昭和56年 3月 | 会社設立                                                         |
| 昭和62年 2月 | 大阪支店を開設                                                      |
| 平成元年 2月  | 東京支店を開設                                                      |
| 平成 2年 8月 | ソフトウェア開発業務拡大に伴い開発センター<br>(現情報センター)開設                         |
| 平成 4年 5月 | SIサービス事業強化のためNBセンター<br>(現技術センター)開設                           |
| 平成11年 6月 | 開発センターを新ビルへ移転                                                |
| 平成13年 3月 | 経済産業省より <b>SI企業</b> として認定を受ける                                |
| 平成14年 3月 | <b>ISO9001</b> の認証を取得                                        |
| 平成16年 1月 | <b>ISMS</b> (情報セキュリティマネジメントシステム)認証取得<br>(現 <b>ISO27001</b> ) |
| 平成16年 4月 | 厚生労働省から一般労働者派遣事業の認可取得                                        |
| 平成17年 6月 | JASDAQ証券取引所(現東京証券取引所)に上場                                     |
| 平成18年10月 | 松下電器産業(株)(現 パナソニック(株))よりイリイ(株)の株式を取得し<br>子会社化                |
| 平成18年11月 | 東京支店移転                                                       |
| 平成20年 6月 | 第三者割当増資実施<br>(東芝ソリューション(4.78%)、豊通シスコム(2.39%))                |
| 平成23年11月 | 本社移転(新社屋/名古屋市中村区内)                                           |
| 平成24年12月 | 障害者の安定的な職場の確保を図るため、障害者を中心に<br>ソフトウェア開発を行う会社「株式会社ソエル」を設立      |